

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

果樹カメムシ類の発生状況（技術情報第7号）について（送付）

本年の果樹カメムシ類の発生推移およびヒノキ球果からの離脱時期の予測について取りまとめましたので、防除指導に御活用ください。

記

本年の果樹カメムシ類の予察灯およびフェロモントラップによる誘殺数は、平年より少ない状況です。果樹カメムシ類がヒノキ球果から離脱し果樹園に飛来する時期は、宇城市三角町が8月下旬、合志市・熊本市河内町・宇城市松橋町および天草市有明町が9月上旬、天草市本渡町が9月下旬と予想されます。なお、地域によっては予想より早く離脱し、果樹園へ飛来する可能性もあります。

1 発生状況

（1）チャバネアオカメムシの7月の予察灯誘殺数は、合志市および宇城市で平年比やや少、天草市で平年比少であった（表1）。また、フェロモントラップ誘殺数は、いずれの地点とも平年比少であった（表1）。

（2）ツヤアオカメムシの7月の予察灯誘殺数は、いずれの地点とも平年比やや少であった。また、フェロモントラップはいずれの地点とも誘殺されなかった（表1）。

（3）ヒノキ球果の1果当たりの口針鞘数が25本に達する時期が、新世代成虫がヒノキ球果から離脱し、果樹園に飛来する時期の目安となる。7月24日（天草市は7月29日）に実施したヒノキ球果における果樹カメムシ類の口針鞘数調査では、県内6地点の平均が1果あたり2.8本（平年4.3本、昨年20.3本）と平年よりやや少なく、前年より少ない（表2）。各地点のヒノキ球果の口針鞘数から、ヒノキ球果からの離脱日は合志市栄で9月9日、熊本市河内町で9月6日、宇城市松橋町で9月3日、宇城市三角町で8月26日、天草市有明町で9月9日、天草市本渡町で9月20日と予測された（表2）。

2 防除対策

果樹カメムシ類は、主に山林のヒノキ・スギ球果を餌として増殖する。本年の誘殺数は平年より少ないが、餌となるヒノキの球果着生量は平年よりやや多いため、今後、果樹カメムシ類の発生量が多くなる可能性もあるので、以下の点に注意する。

（1）果樹カメムシ類は、球果の状態が悪くなると球果から離脱し果樹園に飛来するので、予測飛来開始時期（表2）を参考に早期発見に努める。なお、飛来時期や量は地域や園地による差が大きく、同一園内でも局在するため、園内全体を観察する。また、山間部や山沿いの園では、発生が多くなる場合もあるので、特に注意する。

（2）果樹カメムシ類は日没直後に園外から侵入し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。

(3) 薬剤の使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。

(4) 今後の発生状況や予測離脱日については、病害虫防除所のホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>) を参照する。

表1 各地域のカメムシ類の誘殺状況（7月1半旬～7月6半旬）

地域名	チャバネアオカメムシ						ツヤアオカメムシ					
	予察灯			フェロモントラップ			予察灯			フェロモントラップ		
	本年	平年値	平年比 (%)	本年	平年値	平年比 (%)	本年	平年値	平年比 (%)	本年	平年値	平年比 (%)
合志市	13	122	10.7	2	156	1.3	27	74	36.5	0	0	-
宇城市 (松橋町)	68	291	23.4	31	741	4.2	99	310	31.9	0	6	0.0
天草市 (本渡町)	36	3,256	1.1	2	2,536	0.1	40	369	10.8	0	66	0.0

単位：頭、 平年比 (%) : (本年誘殺数/平年値)×100

表2 7月下旬におけるヒノキ球果の1果当たり口針鞘数および新世代成虫の飛来予測時期

地点	1果当たり口針鞘数 (本) X	離脱までの日数 Y	調査日	予測式で算出された離脱予想日	新世代成虫の飛来予測時期
合志市 栄	1.9	47	7月24日	9月9日	9月上旬
熊本市河内町	2.5	44	7月24日	9月6日	9月上旬
宇城市松橋町	3.5	41	7月24日	9月3日	9月上旬
宇城市三角町	5.5	33	7月24日	8月26日	8月下旬
天草市有明町	3.2	42	7月29日	9月9日	9月上旬
天草市本渡町	0.3	53	7月29日	9月20日	9月下旬
平均	2.8	-	-	-	-
昨年	20.3	-	-	-	-
平年	4.3	-	-	-	-

※1 1地点30球果を調査。

※2 予測離脱日は、福岡県農業総合試験場が開発した予測式により算出した。

$$\text{予測式：} Y = 54.17 - 3.776X + 0.01937X^2$$

(Y：調査日から離脱日までの日数、X：7月下旬のヒノキ球果1果当たり口針鞘数)

※3 Xは小数点第二位を四捨五入、Yは小数点以下切り捨て

※4 予測式による計算値がマイナスになった場合は離脱日までの日数を0とした。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係 (病害虫防除所)
担当：中村、斉藤 TEL：096-248-6490

参考

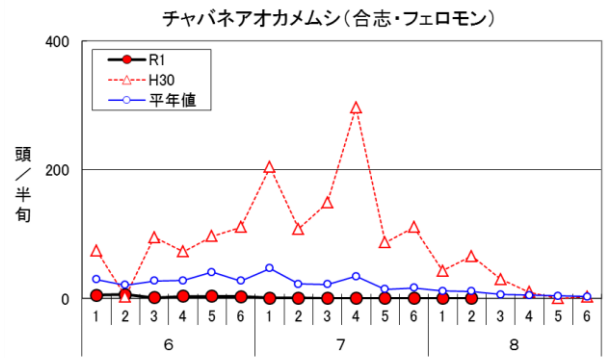
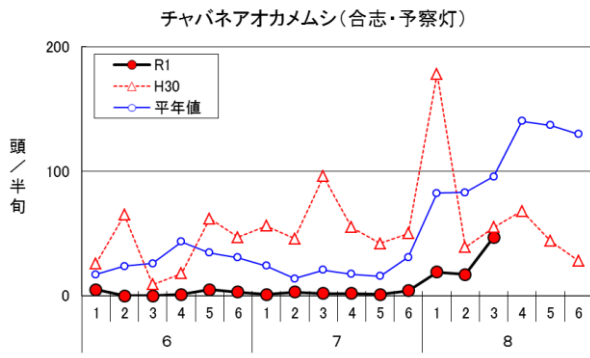


図1 合志市におけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（設置場所：農業研究センター）

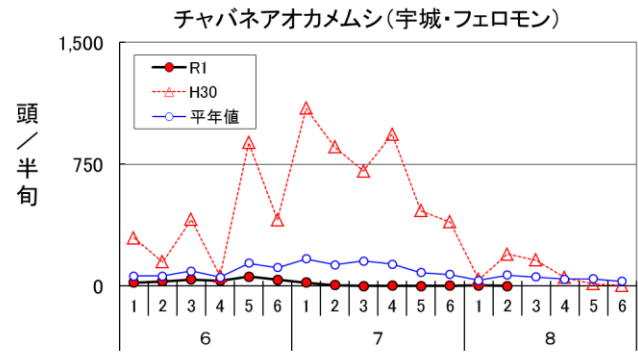
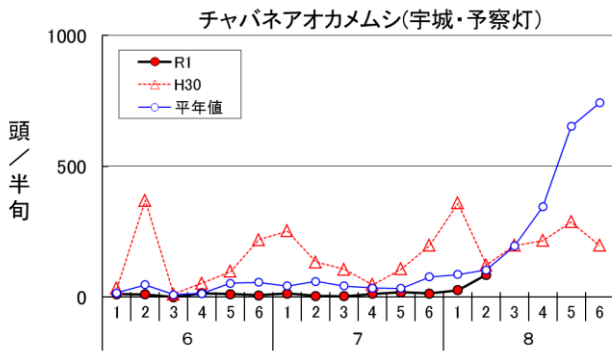


図2 宇城市におけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（設置場所：果樹研究所）

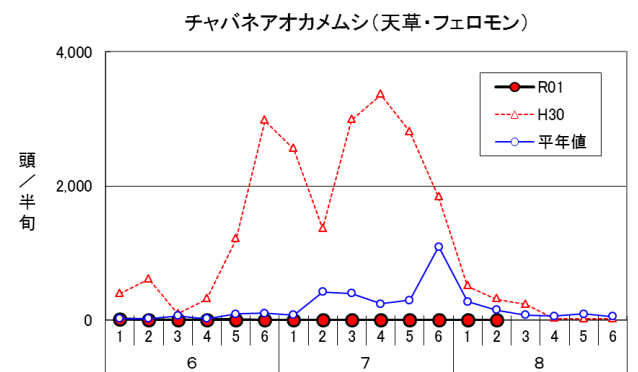
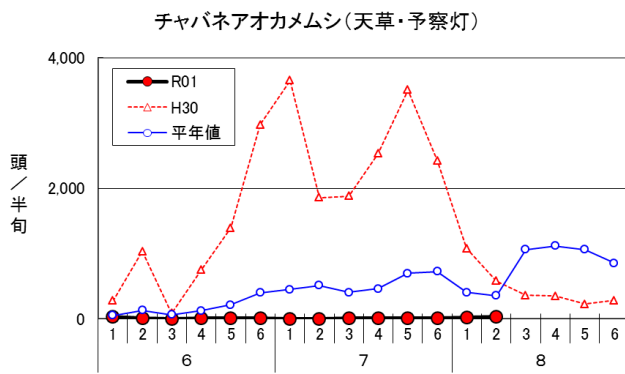


図3 天草市におけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移（設置場所：天草農業研究所）